

部課名		道路部道路政策課											
課の使命		○市民が暮らしやすい都市の実現を目指して、良好な道路等の都市基盤を形成します。 ○総務機能・調整機能を発揮し、部の使命達成に貢献します。											
実行計画(年度目標)													
年度目標設定													
順位	計画類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗状況	中間確認		年度末確認				
							上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に対する実績値	評価	評価の視点	課題と対応
1	経営改革プラン	道路アセットマネジメントの推進	街路灯維持管理計画策定に向けた基礎調査として、町田市で管理している街路灯の内、約200基を抜粋して点検を行い、劣化状況の傾向や特性を把握します。	街路灯維持管理計画策定に向けての基礎調査	完了	○	街路灯点検業務委託の発注にあたり、管理部署と調整し、点検対象約200基の抽出及び点検項目の確認を行いました。	基礎調査として約200基の点検委託を発注し、劣化状況の傾向や特性を把握します。	維持管理計画策定に向けた基礎調査として、街路灯200基の点検を行い、劣化状況の傾向及び特性を把握しました。	基礎調査完了	C	C:目標水準を達成したためです。	劣化状況の傾向や特性を踏まえた維持管理を継続して行う必要があるため、街路灯維持管理計画を策定します。
2	重点事業プラン	都市計画道路事業の推進	優先整備路線である町田3・4・34号の事業着手に向けて、事業認可を取得します。	事業認可取得	完了	○	2024年6月に地元説明会を実施後、用地測量を進め、事業認可申請資料の基図となる測量図作成に着手しました。	測量図を基に事業認可申請資料を作成し、事業認可を取得します。	6月に地元説明会を実施し、用地測量を進め、事業認可申請資料の基図となる測量図を作成しました。また、測量図を基に事業認可申請資料を作成し、事業認可取得手続きを完了しました。	完了	C	C:目標水準を達成したためです。	事業認可に基づき、計画的に事業を進める必要があるため、着実に設計等を進めます。
3	-	都市計画道路(次期事業化計画)の策定	2023年度に実施した基礎調査の成果を参考に、都市計画道路の整備方針の検討を深めます。また、整備方針の検討にあたり、町田市における第四次事業化計画の事業及び検討状況の評価検証をまとめます。	評価検証資料の作成	完了	○	第四次事業化計画の計画期間終了を見据え、計画に位置つけた都市計画道路の事業進捗及び検討・手続き状況の確認を行いました。また、今後の整備方針の検討にあたり、市内の道路網の現状や関連する施策・計画との整合性について、確認を行いました。	評価検証資料を作成します。	第四次事業化計画に位置つけた都市計画道路の事業進捗、検討・手続き状況及び市内の道路網の現状や関連する施策・計画との整合性を確認し、第四次事業化計画の評価検証資料を作成しました。	完了	C	C:目標水準を達成したためです。	次期事業化計画策定に向け、評価検証資料を基に、引き続き庁内及び東京都と検討を進めます。
4	-	道路部職員の能力向上を目的とした、道路部内研修の実施	道路部職員として必要な能力の向上を目的として研修等を開催します。また、動画や資料を共有のフォルダーに格納し、いつでも学べる環境を整備します。	研修開催	9回	◎	4月に新入職員・異動者向け研修、町田市街路樹更新計画に基づく研修として業務紹介や視察を行うなど、9月末までに8回の研修を実施し、延べ116名の参加者から高評価を得ました。また、6月に道路部災害対応フローを見直し、その検証として防災システムの部内操作方法研修や7月の総合水防訓練(図上訓練)に反映して実施しました。これにより8月の台風第10号の対応では、防災システムを活用しスムーズに対応することができました。	環境資源部と合同で行う災害廃棄物処理研修、道路部職員を講師とした橋梁点検研修などを予定しています。研修資料については、部共有のフォルダーに格納し、いつでも学べる環境を整備します。	動画配信を含め15回の研修を実施し、延べ316名の参加者から高評価を得ました。内7回の研修では、道路部として重要と考えている災害をテーマに、図上訓練及び実地訓練を実施し、職員の判断力及び習熟度向上に努めました。新たな取り組みとして、志賀町災害派遣(公費解体事務)職員から、業務内容や現地の状況報告後に、発災時に市職員としてどのような行動をとるべきかなどの意見交換を行うグループワークを実施し、意識の向上を図ることができました。また、本番を想定した実地訓練(災害廃棄物処理)では、環境資源部、防災安全部及び事業者も参加し、役割や備え等について様々な視点から意見交換がなされ、理解を深めることができました。	15回	B	B:当初の目標を上回る成果が上がったためです。	引き続き、効果を検証しながら、災害対策訓練等、道路部職員として必要な能力の向上を目指して研修等を開催します。

部課名		道路部道路整備課											
課の使命		道路等の整備を効果的・効率的に行い、快適で安全な道路環境を提供することで、道路を利用するすべての人が移動しやすいまちをつくります。											
実行計画(年度目標)													
年度目標設定													
順位	計画 類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗 状況	中間確認		年度末確認				
							上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括		目標値に 対する 実績値	評価	評価の 視点
1	重点 事業 プラン	駅周辺施設の 整備	①鶴川駅南北自由通路整備(施工ヤード、地盤改良)と、鶴川駅北口交通広場デッキ整備の一部(下部工、上部工)を進めます。 ②鶴川駅南口アクセス道路の事業用地取得及び工事(整備延長約600mの内約220mを2024年度実施)を進めます。 ③相原駅東口アクセス路等の事業用地取得及び工事(整備延長約650mの内約60mを2024年度実施)を進めます。	①工事実施 ②用地取得率 工事実施 ③用地取得率 工事実施	①完了(2024 年度分) ②50% 完了(2024 年度分) ③65% 完了(2024 年度分)	○	①南北自由通路整備については、4月に鉄道事業者と2024年度協定を締結着手しました。北口交通広場デッキ整備については、3月に契約し着手しました。 ②上半期の用地取得率については35%(面積比)となっています。工事については、8月に契約し着手しました。 ③上半期の用地取得率については56%(面積比)となっています。	①引き続き、2024年度分の工事を完了させます。 ②引き続き、用地取得及び工事を進め、2024年度分の工事を完了させます。 ③引き続き、用地取得及び工事を進め、2024年度分の工事を完了させます。	①2024年度分の工事を完了しました。 ②積極的に用地取得を行った結果、予定していた用地取得率50%に達しました。また、2024年度分工事については、8月に契約後、関係機関との調整や材料手配に時間を要し着工が11月となりましたが、工程調整を密に行った結果、予定していた工事を概ね完了させることができました。 ③積極的に用地折衝を行った結果、用地取得が進み、累積の用地取得率が予定を上回る75%に達しました。また、2024年度分の工事を完了しました。	①完了(2024 年度分) ②50%取得完了、工事概ね完了 ③75%取得完了、工事完了(2024年度分)	C	C:目標水準を達成したためです。	業務を円滑に進めるため引き続き進捗管理を行います。
2	重点 事業 プラン	①都市計画道路3・3・7号(成瀬)の整備 ②都市計画道路3・4・11号(原町田大通り)の整備 ③都市計画道路3・4・22号(小野路)の整備 ④都市計画道路3・4・41号(小山)の整備 ⑤都市計画道路3・4・9号(成瀬)の整備	①都市計画道路3・3・7号(成瀬)の事業用地取得を進めます。 ②都市計画道路3・4・11号(原町田大通り)の事業用地取得を進めます。 ③都市計画道路3・4・22号(小野路)の事業用地取得を進めます。 ④都市計画道路3・4・41号(小山)の橋梁及び交差点部の工事を進めます。 ⑤都市計画道路3・4・9号(成瀬)の構造物設計を進めます。	①用地取得率 ②用地取得率 ③用地取得率 ④工事実施 ⑤構造物設計実施	①50% ②13% ③15% ④完了 ⑤完了	○	①用地取得に向けて地権者との折衝を進めましたが、用地取得率に変化はありません。 ②上半期の用地取得率については1%(面積比)となっています。 ③上半期の用地取得率については25%(面積比)となっています。 ④降雨により橋梁と護岸工事が遅れてしまった影響で、交差点工事の発注が遅れています。 ⑤8月に契約し、設計に着手しました。	①引き続き、用地取得に向けて地権者との折衝を行います。 ②引き続き、用地取得に向けて地権者との折衝を行います。 ③引き続き、用地取得に向けて地権者との折衝を行います。 ④引き続き、橋梁と護岸工事を施工している相模原市と工程を調整し、出来る限り早期の工事完了を目指します。 ⑤構造物設計を完了させます。	①積極的に用地取得を行った結果、用地取得率が予定を上回る53%に達しました。 ②積極的に用地取得を行った結果、用地取得率は7%でしたが、土地4件・占有者16件契約しました。 ③積極的に用地折衝を行った結果、用地取得が進み、累積の用地取得率が予定を上回る28%に達しました。 ④橋梁工事は完了しました。降雨により護岸工事が遅れましたが、相模原市と工程調整を密に行った結果、交差点工事の契約を2月に完了し、2025年9月の完了予定となりました。 ⑤構造物設計を概ね完了しました。	①53%取得完了 ②7%取得完了 ③28%取得完了 ④橋梁工事完了、交差点工事契約完了 ⑤概ね完了	C	C:目標水準を達成したためです。	業務を円滑に進めるため引き続き進捗管理を行います。
3	重点 事業 プラン	無電柱化事業の 推進	①町田623号線の電線共同溝工事を進めます。(整備延長約900mの内約220mを2024年度実施) ②町田835号線(原町田中央通り)の電線共同溝工事を進めます。(整備延長約410mの内約110mを2024年度実施) ③町田37号線(文学館通り)の詳細設計を進めます。	①工事実施 ②工事実施 ③詳細設計実施	①完了(2024 年度分) ②完了 (2024年度分) ③完了	○	①6月に契約し、工事に着手しました。 ②8月に契約し、工事に着手しました。 ③7月に契約し、設計に着手しました。	①引き続き、2024年度分の工事を完了させます。 ②引き続き、2024年度分の工事を完了させます。 ③詳細設計を完了させます。	①2024年度分の工事を完了しました。また、東京都と工事調整を行い、電線共同溝工事を50m前倒し、予定より多く施工しました。 ②2024年度分の工事を完了しました。 ③詳細設計を完了しました。	①完了(2024 年度分)・工事 を50m前倒し、 予定より多く 施工しました。 ②完了(2024 年度分) ③完了	B	B:当初の目標を上回る成果が上だったためです。	業務を円滑に進めるため引き続き進捗管理を行います。

順位	計画 類型	取組項目	年度目標設定			中間確認		年度末確認					
			具体的な活動内容	指標	目標値	進捗 状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に 対する 実績値	評価	評価の 視点	課題と対応
4	-	尾根緑道の整備	忠生732号線(尾根緑道)について、舗装、排水、擁壁工事等を進めます。	工事実施	完了(2024年度分)	○	4月に契約し、工事に着手しました。	引き続き、2024年度分の工事を完了させます。	道路占用企業者との工程調整の結果、追加で占用工事が発生したため、工期を延伸することになり、一部の舗装、排水工事が残ってしまいました。	一部完了	D	D:取り組みましたが、成果が不十分であるためです。	業務を円滑に進めるため引き続き進捗管理を行います。
5	事務 事業 見直し	未利用地、低利用地の有効活用	道路整備課が所管する未利用地または低利用地について、売却や貸付または所管換え等の整理を進めます。	処置件数	3件	○	貸付地については、民間企業にヒアリング等を実施し、土地活用の方向性を検討しました。売却地については価格算定のため、不動産鑑定を行いました。	売却地、貸付地の入札を実施し、契約先を決定します。	土地活用の方向性を検討した結果を踏まえ、入札による貸付手続き1件、売却手続き2件、所管替え手続き1件、実施しました。	4件	C	C:目標水準を達成したためです。	財源確保と管理費抑制のため、引き続き未利用地の整理及び有効活用を進めます。
6	-	職員の業務遂行力の向上	業務に対する知識を深め、業務遂行力の向上を図るため、勉強会を実施します。	勉強会実施	2回	○	補助金完了検査対応に関する勉強会、及び志賀町被災地派遣報告や災害対応時のスマホ操作に関する勉強会を実施しました。	引き続き、業務に対する知識を深めるため、勉強会を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> 補助金完了検査対応に関する勉強会を実施しました。 志賀町に2名の職員が被災地派遣を行い、経験したことについて報告会を実施しました。(2回) 大雨災害の対応を振り返り、急遽、現場状況の速報をスマートフォンを使用し、本部及び関係職員への周知を行う実演講習会を実施しました。 積算業務の知識向上を図るため、急遽、誤積算防止研修を実施しました。 	完了(5回)	B	B:当初の目標を上回る成果が上がったためです。	業務遂行力向上のため、今後も勉強会を行い、知識習得を行います。

部課名		道路部道路管理課											
課の使命		すべての人が道路を安全・安心で、快適に利用できるよう適正な管理を行います。											
実行計画(年度目標)													
年度目標設定													
順位	計画 類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進 捗 状 況	中間確認		年度末確認				
							上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括		目標値に 対する 実績値	評 価	評価の 視点
1	-	道路の不具合の早期発見・早期対応	市民通報の統計情報から、件数の多い路線や地域、通報内容の傾向を分析してパトロールを行い、道路の不具合の早期発見・早期対応を進めます。	パトロールによる道路の不具合の発見件数	150件	○	日常的にパトロールを実施し、9月末時点で約90件の道路の不具合を発見し、補修対応等を行いました。 ※道路の不具合は、「市のパトロール」と「市民等からの通報」によって発見しています。今年度は市民通報の割合が前年度比6%増加しました。なお通報対応は丁寧に行いました。	引き続き、道路上の危険箇所の早期発見・早期対応に努めます。	市民から通報を受けて現地調査を実施する際、調査地付近における通報の多い路線や、交通量の多い路線についても併せてパトロールを行うことにより、効率化を図りました。 この結果、当初の目標値を上回る道路の不具合を発見し、早期に改善対応を図ることができました。		170件	B	B:当初の目標を上回る成果が上がったためです。 今後も継続的にパトロールを実施し、道路上の危険箇所の早期発見に努めます。
2	-	町田市公式LINEに新たに追加した道路通報機能の利用促進	町田市公式LINEに新たに追加した道路通報機能について、多方面に広報や啓発を行います。	全通報に対するLINEによる通報の割合	18%	△	町田駅前ペDESTリアンデッキに掲示した啓発ポスターや広報まちだへの掲載により、LINEによる通報利用の促進を行い、9月末時点で全通報に対するLINEによる通報の割合は7.36.1%となりました。 ※数値誤りのため、修正しました。	LINEによる通報の割合を増加させるため、市民通報アプリ「まちピカ町田くん」からの通報者に対して、より簡単に通報できるLINEの利用をご案内していきます。	啓発ポスターの掲示、広報まちだへの掲載、市民通報アプリ「まちピカ町田くん」からの通報者に対するLINE利用の案内等、LINEによる通報利用の促進を行いました。3月末時点でのLINE通報割合は約6%となりました。 ※当初2024年度中にまちピカ町田くんからLINE利用へ全面移行予定でしたが、まちピカ町田くん利用者の動向を踏まえ、2025年度からの全面移行に変更となりました。このためLINE通報割合は6%にとどまりましたが、2024年度末にまちピカ町田くんが終了すると今後はその分LINE利用者が増加します。		約6% (※まちピカ町田くん利用率と合算すると約18%)	C	C:目標水準を達成したためです。 今後も継続的に各種広報を行い、全通報に対するLINEによる通報割合の増加に努めます。また、まちピカ町田くん利用者をLINE利用に円滑に移行できるように取組みます。
3	-	自転車対策事業におけるコスト面を踏まえた、効果的な対策手法の研究	他市の事例研究やDXを活用した業務効率化等によって、放置自転車等対策業務のさらなる効率化を目指します。また、自転車等の放置禁止の意識を向上させるため、引き続き広報啓発活動を推進します。	新たな放置自転車対策の手法を検討し、方針を策定すること	方針策定の完了	○	他自治体から放置自転車等対策業務について、特に契約方法や巡回回数に関して重点的に情報収集を行いました。 また、DXを活用した業務効率化として、移送料のキャッシュレス決済についての情報収集を行いました。	引き続き、情報収集先の自治体を増やします。 収集した他自治体事例を基に、より効果的かつ効果的な巡回方法等について受託事業者と協議し、委託内容の見直しを行います。 あわせて、対策手法の方針策定に向けて、骨子案の検討を始めます。	放置自転車対策業務の受託事業者と、これまでの知見を基により効果的・効果的な業務の体制等の見直し検討を実施しました。この結果、次年度の予算編成において、2024年度より約500万円削減を行うことができました。 放置自転車対策の手法に関して、他市との比較や専門家の意見を参考に、新たな手法に関する方針を策定しました。		完了	B	B:当初の目標を上回る成果が上がったためです。 引き続き、効果的な対策業務実施に向けた調査や情報収集を行います。
4	事務 事業 見直 し	財源確保に向けた新しい手法の調査・研究	現在、駐輪場の空きスペースを活用して、飲料自販機やEVバッテリー交換機の設置により、賃借料等の歳入を確保しています。今後は、設置できる箇所の増加や、内容の拡大に加えて、貸付のみならず新しい手法を編み出し、財源の確保を図ります。	新たな財源確保の手法を検討し、方針を策定すること	方針策定の完了	○	道路管理課所管の土地において、未利用となっている土地のうち、比較的利活用が容易と思われる土地についてリストアップをしました。このうち、道路区域外になっている土地2か所については、民間事業者等から有効活用に向けた提案をいただけるよう「町田市民間提案制度」に応募し、採用されました。	民間提案制度について、募集を行い、事業化に向けた詳細調整を行います。 未利用地のうち、可能なものについては、売却に向けた検討を行います。 上記民間提案及び売却検討等で得た知見を基に、新たな財源確保に向けた対応方針の策定を進めます。	民間提案制度を利用して、有効活用に向けた募集を行いました。提案はありませんでした。 未利用地のうち、売却可能な土地を選定し、売却に向けたスケジュールの作成や関係課との調整を行うとともに、2025年度に測量を行うための予算要求を行いました。 未利用地の方針策定を行い、未利用地の売却や利用に向け、課内でプロジェクトチーム(PT)を立ち上げました。測量や財産処理、調査など普段の業務で得た知見を活用して取り組みます。		完了	C	C:目標水準を達成したためです。 2026年度の売却に向け、2025年度は測量等の準備業務を加速させます。また、売却可能な未利用地の選出を引き続き行います。

部課名		道路部道路管理課 許認可・用地管理担当											
課の使命		すべての人が道路を安全・安心で、快適に利用できるよう適切な管理を行います。											
実行計画(年度目標)													
年度目標設定													
順位	計画類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗状況	中間確認		年度末確認				
							上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に対する実績値	評価	評価の視点	課題と対応
1	事務事業見直し	「地図情報まちだ」に道路管理平面図整備箇所を公開	<ul style="list-style-type: none"> 道路管理平面図整備箇所を「地図情報まちだ」にて公開します。 周知を図るため、窓口にてポップ案内の掲示、QRコード付案内カードの配布を行います。また、閲覧数の多い「地図情報まちだ 道路網図」に案内を掲載します。これらの案内にて公開のお知らせを行い、利用者への周知および利便性の向上を図ります。 	閲覧数	月1,000回	△	<p>地図情報まちだに公開するための道路管理平面図整備箇所データを作成しました。</p> <p>公開情報のデータに不正確な点や修正箇所が多く見受けられたため、データの精査及び作成に時間を要しました。これに伴い、公開予定に遅れが生じています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 11月に地図情報まちだに道路管理平面図整備箇所を公開する予定です。 公開後は利用者への周知に努めます。 	<p>11月1日から地図情報まちだに道路管理平面図整備箇所の公開をしました。</p> <p>窓口にてQRコード付き案内カードを配布し、公開の周知を行いました。</p> <p>11月、12月の平均の閲覧数については、目標値を上回っており、お客様への利便性向上に寄与することができました。</p>	月1,499回	B	B:当初の目標を上回る成果が上がったためです。	開発等で新たに道路管理平面図を作成した箇所について、地図情報まちだに公開するためのデータ作成が必要です。
2	-	道路GISへの入力業務の自動化	<ul style="list-style-type: none"> 開発行為の申請情報を道路GISに取り込む業務について、RPAソフト(事務作業の自動化システム)を使用してデータの抽出、加工、反映を自動化します。 中高層建築物等計画協議の申請情報を道路GISに取り込む業務について、RPAソフトを使用してデータの抽出、加工、反映を自動化します。 	自動化本運用件数	2件	○	<p>RPAソフトを使用し、道路GISに取り込む業務手順の作成を行いました。</p> <p>動作確認を行ったところ、正常に作動しない等の問題が生じたため、原因抽出と改善を行い、検証作業を進めました。</p>	<p>12月の本運用開始に向けて、引き続き道路GISに取り込む業務の検証作業を進め、自動化を完了します。</p> <p>自動化完了後は、業務担当者へ業務手順の周知を行います。</p>	<p>10月に開発行為の申請情報と中高層建築物等計画協議の申請情報を道路GISに取り込む業務の自動化が完了しました。11月から本運用を開始し、業務の効率化に寄与することができました。</p> <p>自動化完了後は、マニュアルを作成し、業務担当者へ周知を行いました。(取込:5回、月1回程度)</p>	2件	C	C:目標水準を達成したためです。	自動化が完了した業務は、定期的にシステムのメンテナンスを行います。次年度は、新たに自動化を検討している業務について、検証作業を進めていきます。
3	事務事業見直し	道路占用許可申請オンライン化の推進	<ul style="list-style-type: none"> 道路占用許可申請について、過年度に社会実験した3社のオンライン申請を軌道に乗せます。 水道及び下水道管理者への参加を呼びかけます。 	オンライン化の導入	3社本格運用	○	<p>NTT東日本の道路占用許可申請は、4月からオンライン申請を開始しました。</p> <p>システムの不具合があったため、一時停止してシステムの改修を行いました。現在は、オンライン申請の新規受付を再開しています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 東京ガスと東京電力の2社も導入できるように、入力項目や申請方法などの調整を進めます。 運用開始に伴い、業務担当者へ業務手順の周知を行います。 3社の運用状況を確認して、水道及び下水道管理者へ参加の呼びかけを行います。 	<p>4月からNTT東日本、10月から東京ガスと東京電力の道路占用許可申請のオンライン申請を開始しました。小規模工事からオンライン申請を頂き、占用者及び市の双方で基本的な業務手順を構築することができました。(申請:NTT東44件、東電2件、東京ガス3件)</p> <p>水道及び下水道管理者には、本格運用した3社の実績を基にして、オンライン申請への参加を働きかけました。</p>	3社本格運用	C	C:目標水準を達成したためです。	占有する物件の範囲が広く、図面サイズが大きい場合や占有物件が多数ある場合は、申請及び審査に時間を要しています。紙資料の併用も含めて、検討します。

部課名		道路部道路維持課											
課の使命		道路を計画的または応急的に維持管理することで、良好な道路環境を維持し、誰もが安全かつ円滑に移動できるようにします。災害時等に、迅速に道路等の復旧を図ります。											
実行計画(年度目標)													
年度目標設定													
順位	計画 類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗 状況	中間確認		年度末確認				
							上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に 対する 実績値	評 価	評価の 視点	課題と対応
1	個別 計画	橋梁の計画的 補修	「町田市橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、長津田車庫跨線人道橋(東急田園都市線)の補修工事を進めます。	工事	完了	○	予定通り、工事が進捗し、舗装の改修工事や高欄新設工事等は完了しました。現在は、足場の撤去工事を実施しています。	足場の撤去工事を行い、工期内の工事完了を目指します。	工期内に工事が完了しました。	完了	C	C:目標水準を達成したためです。	今後の別工事においても、工期内に工事が完了するように、事前調整や準備を行います。
2	-	直営による橋 梁点検	①点検マニュアルを活用した橋梁点検を職員で行います。 ②災害時の橋梁点検研修を実施します。	①点検の橋梁数 ②研修回数	①10橋 ②1回	○	①直営点検を実施する橋梁の現地確認を実施し、点検計画の作成と準備を行いました。 ②研修のカリキュラムや日程の調整を行いました。	①11月から直営による橋梁点検を実施します。 ②12月に部内職員に対して災害時の橋梁点検研修を実施し、災害対応能力の向上に努めます。	①11月から12月にかけて、10橋の直営点検を実施しました。 ②職員の災害対応能力向上のため、11月6日に災害時の橋梁点検研修を実施しました。(9名参加)	①10橋 ②1回	C	C:目標水準を達成したためです。	引き続き、計画的な橋梁点検と職員の育成を実施します。
3	-	街路樹の更新	「町田市街路樹更新計画」に基づき、街路樹の伐採や植替等の計画的な更新を行います。	実施路線数	98路線 ※昨年度の繰越案件を含んでいたため、修正しました。	○	忠生1002号線、鶴川1202号線、1150号線の伐採が予定より早く完了しました。 他の5路線については、下半期に伐採作業が円滑に行えるよう地域住民との調整を図ります。	引き続き、地域住民との調整を行い、伐採に対する理解を得たうえで作業を実施します。	「町田市街路樹更新計画」に基づき、8路線の伐採が完了しました。(町田128号線、忠生450号線、695号線、1002号線、鶴川218号線、1001号線、1150号線、1202号)	8路線	C	C:目標水準を達成したためです。	引き続き、「町田市街路樹更新計画」に基づき、地域住民との調整を行い、伐採に対する理解を得たうえで作業を実施します。
4	個別 計画	道路昇降機 (エレベーター・エスカレーター)の予 防保全型維持 管理	「町田市道路昇降機管理計画」に基づき、成瀬駅南口エレベーターを省エネ型設備に更新します。	更新基数	1基	△	入札不成立の原因を調査した結果、労務の確保や物流の影響で、エレベーターの製作・設置に約12か月以上必要となることが判明しました。そのため、工事期間を修正し、単年度工事から2カ年債務負担工事に切換え、下期に再度入札を行います。	引き続き、契約準備を行い事業を実施します。	11月に入札を行い、2カ年債務負担工事の契約を締結しました。2026年3月の竣工を目指し、工場製作に着手しました。	0基	D	D:取り組みましたが、成果が不十分であるためです。	今後は、製造メーカーへのヒヤリングや市場調査などによって適正な工期設定を行います。

順位	計画 類型	取組項目	年度目標設定			中間確認		年度末確認					
			具体的な活動内容	指標	目標値	進捗 状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に 対する 実績値	評価	評価の 視点	課題と対応
5	事務 事業 見直し	土木・公園 サービスセン ター資材置 場、倉庫の再 編	<p>・既存施設を倉庫として再利用するための改修設計を行います。</p> <p>・土木・公園サービスセンターの施設機能の再編について今後の方針を策定します。</p> <p>・資材置場の仮移転先の確保と調整を進めます。</p> <p>※計画の見直しのため修正しました。最終処分場区域変更に伴い、土木・公園サービスセンターを「存置」から「解体、新設」に変更したため、既存倉庫の改修・設計が不要となりました。</p>	設計実施 方針の策定	完了	○	最終処分場の区域設定によって、土木・公園サービスセンターの移転・解体が必要となったため、計画の見直しを行いました。計画の見直しによって、既存施設を改修せずそのまま倉庫として一時的に再利用することになりました。	引き続き、再編に向けた準備を行います。	土木・公園サービスセンターの移転・解体が必要となったため、計画の見直しを行い移転方針を策定しました。資材置場の移転に向けて、仮移転先の調査と既存資材置場の片付けなどの整理を行いました。	完了	C	C:目標水準を達成したためです。	引き続き、土木・公園サービスセンター再編に向けた準備を進めます。
6	事務 事業 見直し	技能・労務系 業務のあり方 及び包括的民間 委託による 担い手の変更	包括的民間委託(街路樹・草刈り)の導入を検討し方針を策定します。	方針の策定	完了	○	市内事業者アンケートやヒアリングを行うと共に、庁内勉強会を実施し、包括的民間委託への理解を深めました。また、民間委託化が円滑に実施できるように、街路樹や草刈り台帳の再整理を行いました。	引き続き検討を行い、包括的民間委託の方針を策定します。	街路樹・草刈りの新たな管理手法の実施に向けて、事業者への説明や事業内容、台帳等の再整理を行い、包括的民間委託の方針を策定しました。	完了	C	C:目標水準を達成したためです。	2026年度の包括的民間委託に向けて、準備を進めます。